

計画全体を通しての意見

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
1	各施策の内容の具体的なメニューや取り組みについて、もっと示してくれないと意見やアイデアが出にくいと感じる	計画全体への意見		こども家庭課	富津市こども計画は、富津市が子育て施策をする上での方針を定めるものです。具体的なメニューや施策の内容については、「子育て応援ガイドブック」等で取りまとめておりますので、市民に周知を図ります。	—
2	こども計画の先にある目的が人口増なのであれば、抜本的な改善策が必要なのではないか。	計画全体への意見		こども家庭課	富津市こども計画の大きな目的は、基本理念にもあるとおり、次代を担う子どもたちが健やかに育つことと、子どもたちの笑顔があふれるまちにつなげることです。基本理念を目指すことで、結果として人口増につながることを考えています。子どもたちが幸せに過ごすことができるように施策を展開してまいります。	—
3	貧困や第3子以降への支援で、子育てしやすい町と言えるのか。もっと第1子の支援を強化すべきでは。	計画全体への意見		こども家庭課	ご意見にあるとおり、貧困世帯や第3子以降のみならず、多くの子育て当事者を対象とした支援をニーズに沿って展開してまいります。 また、現在市では、計画書92ページ、5-14にあるとおり、放課後児童クラブの保育料補助の拡大を検討しております。今後も子育てしやすいと思っただけのまちづくりを進めてまいります。	—
4	富津市に住みたいと思える施策を増やすべき。	計画全体への意見		各課	富津市が市内在住者のみならず、市外の方から魅力的に思ってもらえる施策の展開を図ってまいります。	—
5	社会情勢は変化するものであり、この計画に書いてあるものも内容を変える必要が出てくると思う。	計画全体への意見		こども家庭課	富津市こども計画については、中間年で見直しを行う予定です。その際に富津市の現状や社会情勢等を鑑みて見直しを行います。	—
6	家庭と行政が一緒になって考えて、その結果を家庭にとって良いものにしないといけない。(施設が整えばよいというわけではない)	計画全体への意見		こども家庭課	今回実施したニーズ調査、子どもの生活状況調査、若者の意見聴取調査でいただいた意見を参考に、施策の展開を図ってまいります。	—
7	せっかくこどもにアンケートを取ったので、反映してあげれば富津市いいじゃん、このまま住んでいようと思う。	計画全体への意見				
8	こどもがほしいと思えてもらうことが大切。そのような取組として、例えば、中学生の職場体験など、乳幼児と関わる機会を作るのはどうか。	未掲載施策の提案		学校教育課	中学校「家庭科」において、より良い家庭生活に向けて考え、工夫する活動に取り組んでいます。また、「道徳科」においても、生命尊重の態度を育成しております。 実際の交流等を通して実感を伴った理解ができるように、体験が難しい場合は、視覚教材を利用したり、ロールプレイング等を行ってまいります。	—
9	移住者、子どもを増やすために、商業、不動産業、医療、教育と連携する必要があるのではないか。 ※会議等の実施	未掲載施策の提案		企画課	左記の分野で連携するための会議等については現時点で検討しておりませんが、必要に応じて、連携を図ってまいります。	—

情報の周知についての意見

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
10	富津市独自のものをPRする必要があるのではないか。	計画全体への意見		各課	情報周知の強化を図ってまいります。	—
11	相談に行けない人や情報難民の人がいたり、認知が低いと感じる。サービスの情報提供の実施を行う。また、保護者がよりわかりやすい補助制度の提示が必要だと思う。	計画全体への意見		各課		
12	情報の仕方をみんなの目につく方法で行う必要があると思う。	計画全体への意見		各課		
13	知られていない情報の情報伝達の工夫をするべき	計画全体への意見		各課		
14	イベント情報の発信	計画全体への意見		秘書広報課		
15	1-12 ふっつの魅力発信事業 1つの課にアピールを任せてよいのか。	掲載施策への意見	P71 No.1-12	秘書広報課		
16	1-12 ふっつの魅力発信事業 富津に住んだらいいところなどを周知していくべきでは。	掲載施策への意見		秘書広報課		
17	1-14 こどもチャレンジ教室 もっと周知していくべきでは。	掲載施策への意見	P71 No.1-14	公民館		
18	5-27 利用者支援事業 もっとワンタッチで検索しやすいような情報提供の方法があると良い。	掲載施策への意見	P94 No.5-27	こども家庭課		

1-1 ライフステージを通しての視点

1-1) こども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
19	民間企業や事業所と連携する	計画全体への意見		こども家庭課	こどもの施策の展開にあたり、民間企業等のご協力は必要不可欠であると考えております。展開する施策により、民間企業等と連携し、子育てしやすい環境整備を図ってまいります。	—
20	他市の先進的な取組を視察する。	計画全体への意見		各課	先進的な取り組み等があり、富津市でも取り組むべき施策があった場合は必要に応じて、視察を実施します。	—
21	市としてつなげていくワンストップの窓口が必要	未掲載施策の提案		こども家庭課	市民の方々が手続きや困りごとの相談等をしやすい環境整備に努めてまいります。	—
22	担当課にまかせるのではなく、こどもの意見を学校等で聞き、とりまとめて担当課へ伝える組織を作る	掲載施策への意見	P69 No.1-1	こども家庭課	こどもの意見の聴取につきましては、実際どのように行うか検討してまいります。今回のこども計画の策定には、アンケート調査を行いました。直接聞く機会を設けることも大事と考えております。学校や地域と連携して、意見の聴取に努めてまいります。	—
23	子どもの意見を直接聞く機会を設ける。	掲載施策への意見				

1-2) 社会を生きぬく力の育成

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
24	自己表現できない子どもたちが多いのでは。学校や組織で対策する必要があると思う。	未掲載施策の提案		学校教育課	現行の学習指導要領、富津市学校教育の指針に基づき、ご意見の内容も含む「思考力・判断力・表現力」を養う教育活動を各校において実施しております。	—
25	1-2 海外派遣交流事業 ホームステイ生徒の人数がどれくらいいるのか。少ないと施策として市民が納得しないのでは。	掲載施策への意見	P69 No.1-2	学校教育課	隔年でカールスバッド市に4名の中学生を派遣しております。引率可能な人数から4名が妥当であると考えております。	—
26	1-8 児童遊園地管理運営事業 こどもの遊び場がないと思う。	掲載施策への意見	P70 No.1-8	保育課	児童遊園地管理運営事業により、児童遊園地5箇所、子どもの遊び場20箇所を設置しております。	—
27	個人のコミュニティ頼りになっていることから、気軽に相談できる相談先の設置や交流施設が必要ではないか。	掲載施策への意見	P71 No.1-16 他	こども家庭課	市では様々な相談事業や交流の場を設けておりますので、その周知を図ってまいります。また、子どもや子育て当事者のニーズに対応した事業や場所を提供するように努めてまいります。	—

1-9) 犯罪・事故・災害から子ども・若者を守る取組

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
28	お金に関する教育、情報の教育が必要と思う。例えば昨今の闇バイトとかのようなものに巻き込まれないように、また、そういったものに手を染めてしまうような状況にならないように、ネットへの関わり方等を勉強してもらったり、ソーシャルゲームの向き合い方やカードローン、リボ払い等の教育が必要だと思う。	未掲載施策の提案	P77 No.1-50	学校教育課	ネット社会と関わる力を身につけるために、タブレット端末の日常的な活用の中で、ネットリテラシー・情報リテラシーを身につける教育を実践しています。また、外部講師を招き、親子学習会をするなど、家庭を巻き込んだ実践を実施しています。金融教育についても、現行の指導要領に示されているため、各教科等とおして実施しております。	有 ※資料3 No6のとおり反映。
29	1-57 地域こども見守り隊、1-58 こども110番の家の推進については、組織が弱体化しているのではないかと思う。再構築が必要なのではないか。そういう意味でスクールバスを市内全土に運用してみたらいかがか。	掲載施策への意見	P78 No.1-57 P78 No.1-58	学校教育課	学校運営協議会やPTA活動を中心に、地域の安全のための取組について必要に応じて検討してまいります。また、スクールバスの運行は学校の再配置により遠距離通学となった児童・生徒の通学の負担を軽減することを目的としており、防犯の観点から拡大する予定は今のところございません。	—

2 こどもの誕生前から幼児期おける視点

2-1) 妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目ない保健・医療の確保

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
30	保育所を知ってもらう工夫として、妊婦のときから気軽保育所に入出入りできるようにしたらどうか。※防犯面も考慮する。	未掲載施策の提案		保育課	事前連絡をいただければ、見学は可能です。	—
31	市内に、産婦人科、耳鼻科、皮膚科があるとよい。	未掲載施策の提案		健康づくり課	皮膚科につきましては、市内にさくらクリニック、君津中央病院大佐和分院がございます。産婦人科・耳鼻科につきましては、現時点で、市内にこれらの診療科を有する医療機関はありません。医療機関の開業については、個々の医療機関の考え方によるものと認識しておりますが、富津市に求められている医療機関が開業されるような取組を検討してまいります。	—
32	5歳児健診の実施があるとよい	未掲載施策の提案		健康づくり課	5歳児健診の目的を踏まえ、発達支援の実態状況の把握をし、多職種間の協議やフォローの体制整備が必要と考えております。	—
33	就学前健診の実施があるとよい。	未掲載施策の提案	P81 No.2-15	学校教育課	就学前児童健診については、すでに実施しております。今後も入学予定児童の心身の状況を的確に把握し、保健上必要な勧告、助言を行うとともに適切な就学を図ってまいります。	有 ※資料3 No8のとおり反映。
34	2-1 母子手帳の交付 情報提供として、保育所への見学を実施したらどうか。	掲載施策への意見	P80 No.2-1	保育課	事前連絡をいただければ、見学は可能です。	—
35	2-1 母子手帳の交付 指導の実施をどれくらい、どこでやっているのか。	掲載施策への意見	P80 No.2-1	健康づくり課	母子健康手帳交付時、全ての妊婦やその家族に対して、保健師、管理栄養士等が妊娠中の健康管理について保健指導、栄養指導を実施しています。また妊娠・出産に関する制度や不安なことについての相談も行っています。	—
36	2-4 プレママ学級 育休を取得しているパパが育児に参加していない面があるので、積極的になるような取組	掲載施策への意見	P80 No.2-4	健康づくり課	プレママ学級には、パートナーの方も参加していただいているので、新生児のお世話の仕方や産婦の体の変化についてなど、育児に積極的になっていただけるようなお話をしております。昨年度、先輩パパが育休体験談を語るプレパパ学級をこども家庭課が実施しました。	—
37	2-4 プレママ学級 実際の赤ちゃんを見る機会を設けるべきでは。→保育所の活用	掲載施策への意見	P80 No.2-4	健康づくり課	市内保育所と協議し、検討してまいります。	—
38	2-5 産前産後ヘルパー派遣 引っ越してきた人にも伝わっているのか。どこで情報を得ているのか。	掲載施策への意見	P81 No.2-8	こども家庭課	妊婦の方が転入した際、児童手当を支給申請する際にチラシを配付し、周知しています。また、市ホームページに案内を掲載する他に、定期的に市広報紙や市公式LINEでも当事業の周知を図っています。	—

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
39	妊産婦タクシー、陣痛タクシーがあるとよい。	掲載施策への意見	P91 No.5-3	企画課	妊産婦のタクシー利用については、最大6か月分（12,000円）を助成しています。陣痛タクシーについては、現在検討しておりませんが、今後の施策展開における参考とさせていただきます。	—
40	2-9 乳児家庭全戸訪問事業 保育所等の紹介パンフレットを配付	掲載施策への意見	P81 No.2-9	健康づくり課	妊娠届時に子育て応援ガイドブックを配付し、周知しております。	—
41	2-10 乳児健康診査 医療機関との連携はされているのか。	掲載施策への意見	P81 No.2-10	健康づくり課	健診の事後、医療機関受診が必要な場合は精密検査を勧め、受診結果を確認しています。	—
42	2-11 乳幼児歯科相談、2-12 乳幼児相談 どの程度利用があるのか？自分からいけない人がいたりするので、そこが課題だと思う。	掲載施策への意見	P81 No.2-11	健康づくり課	4か月児、7か月児、10か月児、1歳児、1歳6か月児、2歳6か月児、3歳児健診と節目年齢で健診や相談を実施しています。来庁できないご家庭に対しては、電話、訪問での相談を行っています。また、歯科相談は地域交流支援センターで定期的に行っています。小中学校では昨年度から再開していますので、保育所等での再開も検討中です。	—
43	2-13 1歳6か月児健康診査、2-14 3歳児健康診査 健診結果を保育所にも情報共有するのはどうか。	掲載施策への意見	P81 No.2-13	健康づくり課	子育て当事者の同意を得たうえで、要望等を聞きながら、必要に応じて情報提供を行います。	—
44	2-13 1歳6か月児健康診査 発達の検査が必要な場合に適切な支援につなげるとあるが、その後のフォローはあるのか。	掲載施策への意見	P81 No.2-13	健康づくり課	医療機関での精密検査が必要な場合は検査を公費で助めています。結果については確認し、治療や療育等が途切れないよう支援します。健診での発達相談は「児童家庭支援センターピーターパンの家」の専門職による「ことば・しつけの相談」があり、必要に応じて健診後も継続的に相談を行っています。	—
45	2-15 予防接種を受けている割合はどれくらいなのか。受けることのメリット・デメリットを説明する機会があると良いと思う。	掲載施策への意見	P81 No.2-16	健康づくり課	各種予防接種の接種率の概要については、市ホームページの「健康づくり課事業シート」において、公表しております。また、各種予防接種を受けることによる効果や副反応等については、出生届出時の「すくすくファイル（予防接種のすすめ）」の手渡しや、個別に案内文を送付し、各種健診等の際に必要に応じて説明を行っております。	—
46	1歳6か月児健康診査以降、発達の相談をする機会がもっと必要では。	掲載施策への意見	P73 No.1-29 P74 No.1-40 P81 No.2-14 P94 No.5-31	学校教育課 障がい福祉課 健康づくり課 こども家庭課	「幼児ことばの相談会」、「療育等支援事業」により、ことばの訓練や心理診断等のこどもの療育相談を行うほか、2歳6か月児健診、3歳児健診(3歳6か月) 必要に応じ療育相談を勧めたり、保健師による面談・訪問を実施しています。その他、発達に心配のある保護者の相談は随時受けています。また、子育てに関する相談のワンストップ的な窓口の役割として、「子育ての話何でも聞きます窓口」を設置しております。	—

2-2) こどもの誕生から幼児期までの安心を伴うこどもの成長の保障

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
47	様々な事業を実施するにあたり、実際に預かる環境を整えるための保育士増員のための事業が必要かと思う。養成校との連携、学費の援助、保育士を希望する親が保育所に子どもを預けられる制度など。	未掲載施策の提案		保育課	私立保育施設に対する保育士処遇改善事業・保育士 宿舎借り上げ支援事業を実施しております。また、 保育士養成校の就職説明会への参加や保育士養成校 の学生の保育所への訪問など相互の連携を図って おります。他にも保育人材確保策として、修学資金貸 付を検討しております。	—
48	2-17 こども誰でも通園制度を活用して、育休中でも短時間働ける仕組みがあると良い。	掲載施策への意見	P82 No.2-17	こども家庭課	こども誰でも通園制度は1か月10時間を上限とする ことが想定されていることから、既存の一時預かり 事業や放課後児童健全育成事業（放課後児童クラ ブ）等を周知するほか、育児と仕事が両立できる環 境を整備してまいります。	—
49	2-17 こども誰でも通園制度の実施、2-18 一時預かり事業 区別が分かりにくい。コストがどれくらいかか るのかとかがわからない。	掲載施策への意見	P82 No.2-17 P82 No.2-18	保育課	現時点での国の説明では、一時預かりは、保護者が 一時的に保育が困難となった場合に「預かる」とい う考え方を基本とする事業で、誰でも通園制度は、 子どもの成長のために「通う」という考え方を基本 としております。 利用者負担額は、一時預かりと同程度を想定して おります。	—
50	2-20 病後児保育事業 小児科のある病院が少なく予約戦争になっている。小児科や病児保育の充実を図って ほしい。	掲載施策への意見	P82 No.2-20	保育課	病後児保育については実施していますが、病児保育 については、受託施設の確保に努めてまいります。	—
51	2-21 保育所（園）・認定こども園・幼稚園への巡回訪問 訪問回数を増やしてほしい。	掲載施策への意見	P82 No.2-21	保育課	いただいたご意見を参考に、関係機関と連携を図 り、検討してまいります。	—

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
52	栄養士さんなど子どもに対して、どのような栄養が必要か見解をお持ちの方がいるのを活用して、栄養のある食事や惣菜、オートミールなどを保育所で販売することはできないか。子育てと働くことの両立で食事を作るのが大変なことから行ってけると嬉しい。イオンさんなど周辺の商業施設等などと連携できればもっと広がるのではないかな。	未掲載施策の提案		健康づくり課	今年度、市内のスーパー（イオン・ランドローム）と連携して、管理栄養士監修の健康的な弁当の開発・販売などを通じて、減塩や野菜摂取の必要性を周知する取組「スーパーと連携した食生活改善事業」を実施しました。この取組を今後市内に広げていく予定のため、保育所へ情報提供することは可能だと思います。	—
53	2-27 児童遊園地管理運営事業 公園はあるが、遊具が無い。管理が大変という状況になっているので、集約化等も図りながら、シルバー人材等を活用して、うまく管理できないか。	掲載施策への意見	P82 No.2-27	保育課	児童遊園地等に係る管理運営方針を策定しているところであり、今後、ワークショップ等を開催し、子どもだけではなく地域住民からも利用される場となるよう検討してまいります。 また、児童遊園地等の管理運営については、福祉作業所に草刈等の業務を委託するなどしており、引き続き管理運営に協力いただくことで考えております。	—
54	子どもたちが求める遊び場を増やしてほしい	掲載施策への意見	P82 No.2-27	保育課	今後、地域においてワークショップ等を開催し、子どもだけではなく地域住民からも利用される場となるよう、場所や設備等について検討し、改善していきます。	—
55	公園のトイレを整備してほしい	掲載施策への意見	P82 No.2-28	都市政策課	市民ふれあい公園内の公衆トイレ等については、日常の維持管理に加えて、令和4年度から便器交換、洋式化などの衛生設備の改修を進めております。	—
56	インクルーシブな公園を整備してほしい。	掲載施策への意見	P82 No.2-28	都市政策課	市民ふれあい公園内の遊具については、日常の維持管理に加えて、令和3年度から集約化やインクルーシブ遊具の検討等も踏まえ改修しております。遊具単体だけではなく、公園全体としてインクルーシブの観点を盛り込むことは今後とも必要であると考えております。	—

3 学童期・思春期における視点

3-1) こどもたちの自信を育む教育の土台作り

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
57	教育を行うにあたっては、学校の先生の力が必要であるが、先生の仕事量が多く、それに加えて、休日出勤、残業が多い。ここへのアプローチは必要なのかなと思う。部活動の地域移行の話もあるが、結論は出ないと思う。	未掲載施策の提案		学校教育課	事務補助として、スクール・サポート・スタッフの各校への配置や、児童生徒の指導や支援のために、指導補助教員や特別支援教育指導員などを学校に配置し、教員の負担軽減を図っています。 また、学校へ働き方改革のための好事例を紹介する「教職員の働き方改革ガイドライン」の改訂を行ったり、「部活動ガイドライン」により教員の勤務時間等の管理を行いながら、教員の負担が過度とならないようにしております。	—
58	ALTの先生を通して、いろんな国の文化を知る機会があると良いと思う。そのような機会を設けるには、教員とALTの連携が必要不可欠であると思う。そのため、教員の英語能力の向上も図るようなことができると良いと思う。	掲載施策への意見	P84 No.3-2	学校教育課	既の実施しており、特に小学校の外国語・外国語活動の時間には、ALTの母国の文化の紹介や母国とのオンライン交流等を実施しています。	—
59	スポーツ少年団に遠征費等の補助などを行い、充実させると良いと思う。	掲載施策への意見	P85 No.3-11	生涯学習課	スポーツ少年団の千葉県交流会や全国大会へ出場する団体競技については、参加費や交通費の補助を行っております。	—
60	無気力なこどもが増えていると思う。もしかしたら、周りの大人たちが忙しくて疲れており、子どもの目標や夢の話などそういった話をする機会が減っているのではないかと思う。大人に対して気軽に相談できる場所を作る必要があると思う。重い悩みなどをもって、煮詰まってから相談に来るという方が多いのではないかと思うので、そこを解消する施策が必要かと思う。大人がいきいきしていることが大事だと思う。	掲載施策への意見	P86 No.3-19	学校教育課	教職員と児童生徒が気軽に相談できる環境づくりのため、教職員の働き方改革を進め、こどもと向き合える時間を確保するとともに、SOSの出し方教育の推進を行います。また、教職員にも相談しづらい悩みをもつ児童生徒のため、学校内の担任以外の相談窓口（スクーラカウンセラー等）の充実を図ります。	—
61	無気力なこどもが増えたのは、学力についていけないことなどを起因として、自分の夢や目標が持てなかったり、自己肯定感の低さに原因があると思う。そういったこどものフォローも必要だと思う。学校の先生、親にも相談できないけど、あそこに行けば誰かが話を聞いてくれるみたいな場所が必要だと思う。	掲載施策への意見				

3-3) 心身の健康等についての情報提供やこころのケアの充実

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
	思春期は人を大事にすることを学ぶ。命の教育、性教育なども行っていく必要があると思う。	未掲載施策の提案		学校教育課	富津市学校教育の指針で示しているとおり、豊かな心を育む教育の推進として、道徳、保健体育等で実施しております。また、各校の実態に応じて、産院の助産師等を講師として「命の教育」を実施しています。	—

4 青年期における視点

4-1) 高等教育の修学支援

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
62	転出を抑制させるために、子どもの通学のための援助や部活のための援助などを行うと良いと思う。公共交通機関の充実も必要だと思う。	掲載施策への意見	P88 No.4-2	政策推進課	令和6年9月から高速バスを利用して、県外の大学等に通学する方を対象とした高速バス通学定期券購入費の一部補助を開始しました。	—

4-2) 就労支援、雇用と経済的基盤の安定のための取組

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
63	転出を抑制させるために、大人が遠くに通勤する際の手当があると良いと思う。公共交通機関の充実も必要だと思う。	未掲載施策の提案		企画課	通勤する際の手当については、政策推進課において今年度から開始した高速バス通学費助成事業の実績等を踏まえて検討してまいります。 また、公共交通機関については、交通事業者等と連携し、利便性の向上に努めてまいります。	—
64	企業が社員らに還元できる助成や施策があるとよい。	未掲載施策の提案		商工観光課	いただいたご意見につきましては、今後の施策の展開の参考とさせていただきます。 なお、意見内容に関連したものとして、計画書88ページ、No.4-4に記載のある奨学金返還支援事業を教育総務課にて令和6年度より実施しています。	—

5 子育て当事者への視点

5-1) 子育てや教育に関する経済的負担の軽減

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
65	5-6 子ども医療費助成 対象年齢の引き上げや無料化してほしい。	掲載施策への意見	P91 No.5-6	こども家庭課	富津市では、子ども医療費助成制度の他にも様々な支援事業を行っており、各々の支援事業の実績等を勘案して、支援事業の拡大等を検討してまいります。今回いただいたご意見を参考とさせていただき、子育て支援事業の適正な運営を図ってまいります。	—
66	短時間勤務制度の促進のため、保育料の無償化や半額などに取り組むのはどうか。	掲載施策への意見	P92 No.5-11	保育課	フルタイム就労が増加している昨今の現状を鑑み、当市では短時間勤務を促進する考えに至っておりません。 なお、短時間勤務に限定しない保育料の負担軽減を検討しております。	—
67	5-19 生活困窮者自立支援事業 生活困窮者が窓口に来やすい環境や窓口以外での相談方法が良い。また、担当者が同じ人であれば安心と思う。	掲載施策への意見	P92 No.5-19	社会福祉課	窓口での相談以外に、電話での相談や、職員が直接相談者に出向き対応をしています。今後も継続した周知を行い、臨機応変な相談対応を行います。	—

5-2) 地域子育て支援、家庭教育支援

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
68	5-31 子育ての話何でも聴きます窓口の出張窓口の開設 どのくらいの利用があり、本当に必要なものなのか。	掲載施策への意見	P94 No.5-31	こども家庭課	子育ての話何でも聴きます窓口は、昨年度実績で年間41件の相談を受けており、内出張窓口は24件となっております。当事業は子育てに関する相談のワンストップ的な窓口の役割があり、市役所に来庁できない方々で相談を希望する方がおられることから、必要と考えております。	—
69	5-32 親子関係形成支援事業 全員を対象にする方が来やすいのではないか。	掲載施策への意見	P94 No.5-32	こども家庭課	親子関係形成支援事業については、虐待等の養育的な課題を抱えている親子に対して行う支援事業であることから全員を対象とする事業ではありません。富津市では子育ての話なんでも聞きます窓口を設置しておりますので、そちらを周知し、必要に応じて当事業につなげるようにします。	—
70	地域子育て支援センターの土日祝日の開設はできるのか。	掲載施策への意見	P95 No.5-34	こども家庭課	地域子育て支援センターについては、市内に3か所設置しており、地域交流支援センター「カナリエ」は年末年始・祝日を除く火曜日から日曜日、地域子育て支援センター「もうひとつのお家」、「あおぞらハウス」は平日のみとなっております。	—
71	5-35 ファミサポ用のチャイルドシートがあると会員数の増に繋がるのではないか。	掲載施策への意見	P95 No.5-35	こども家庭課	チャイルドシートについては、普段からお子さんが使用しており、慣れているもの、合ったものを利用していただくことが安全であると判断しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。	—
72	5-35 ファミサポを民営化したらどうか。	掲載施策への意見	P95 No.5-35	こども家庭課	ファミリーサポートセンター事業については、市町村主体で行うこととなっておりますので、民営化をする予定はありません。	—

5-3) 共働き・子育ての推進、男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・拡大

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
73	家事を援助してくれる事業があるとよい。	掲載施策への意見	P76 No.1-46 P80 No.2-5 P95 No.5-35	こども家庭課	現在、家事などを援助してくれる事業として、産前産後ヘルパー派遣事業、ファミリーサポートセンター事業を実施しております。また、ヤングケアラーへの支援を推進してまいります。	—

5-4) ひとり親家庭への支援

No	意見の内容	意見種別	掲載箇所	担当課	市の考え	素案への反映
74	ひとり親の方の情報を保育所と共有し、連携することで、より手厚く支援ができるのでは。	計画全体への意見		こども家庭課	子育て当事者の要望等を聞きながら、必要に応じて保育所や関係各課と連携し、支援に努めてまいります。	—